

ひみこちゃんが
「大和さくらい100選」
一度は行ってみたいスポットを紹介 - その27 -



新しく磯城瑞籬宮伝承地の
看板が設置されたよ！



↑志貴御懸神社

国の平定を祈った土地—神浅茅原—

崇神天皇の時代、疫病が流行っていました。そのため崇神天皇が八十万の神々を「神浅茅原」（現在の茅原と伝えられている）に招いて占い、倭迹迹日百襲姫命が神懸かりによって大物主神を祀るように告げたとされています。

神御前神社は茅原に鎮座し、倭迹迹日百襲姫命を御祭神としています。

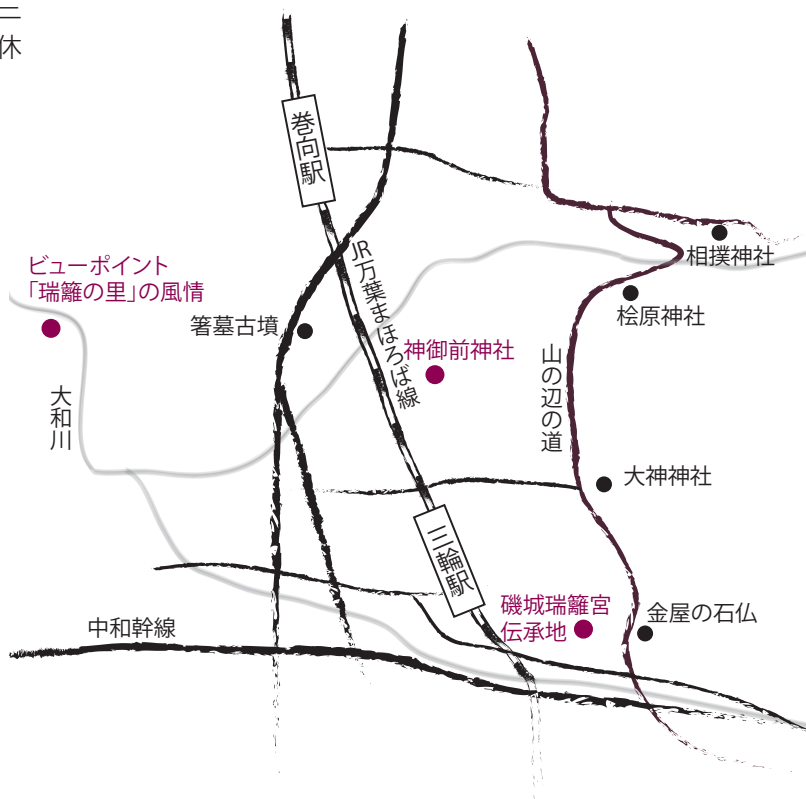


↑神御前神社

ここは大和さくらい100選のビューポイント「瑞籬の里」の風情に選ばれており、手前に大和川、その後方に三輪山が臨めるスポットです。この堤防には、屋根付きの休憩場がある公園と市杵島神社が隣接しています。



↑大西から見える大和川・三輪山



「ひみこちゃんのページ」

<http://www.city.sakurai.lg.jp/himiko/index.html>

観光まちづくり課 (☎ 42 - 9111 内線 342)

twitter @himiko_chan

今回は、「大和さくらい100選」の「記紀万葉ゆかりの地」に選ばれている磯城瑞籬宮と神御前神社などを紹介するよ！

はつくしらすめらみこと
「御肇国天皇」と称えられた崇神天皇

第10代崇神天皇の「磯城瑞籬宮」宮址の碑が志貴御懸神社にあります。磯城瑞籬宮の存在した場所について、「日本書紀」では金屋付近にあったと伝えています。

崇神天皇は大和の三輪山の神、大物主大神を祀りました。これにより流行していた疫病がやみ、国内が穏やかになりました。また、同時に周辺諸国の統一にも取りかかりました。これらを称え、崇神天皇ははつくしらすめらみこと「御肇国天皇」というのはじめて国を治めた天皇という敬称をもっています。